

【第2回 学校運営協議会】

令和3年11月11日実施

1 開 会

2 報告・連絡事項

- (1) 「今後の朝来市立学校の在り方」について【朝来市教育委員会より】
- (2) 中学校の現状について

3 意見交換・協議事項

- (1) 今後の学校の在り方について
- (2) 前期の学校評価について
- (3) 「至誠」育成プロジェクトチームについて
- (4) 県指定「伝統文化学びの充実事業」について
- (5) その他
  - ① 生野中学校文化祭について
  - ② プロから学ぶ創造力育成事業について
  - ③ PTA 教育講演会について
  - ④ 本年度の学校行事について

4 質疑応答（学校運営に関すること）

NO	意見及び質問事項 等	改善・対応策 等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の現状把握を行う。</li> <li>①給食の試食      ②給食参観</li> <li>③清掃参観      ④授業参観</li> <li>・アレルギー生徒数と対応は怎么样了のか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年とも給食を完食していることは素晴らしい。残飯残菜等がない。今後も継続してほしい。</li> <li>・1年生2名、2年生3名の計5名が除去食として給食センターが対応している。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の部活動の状況と社会体育へ参加の生徒の動向により、学校行事の日程設定に少なからず影響していると聞くがどうなのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在は市内4中学校で希望入部制を導入している。本校では、約86%が入部しており残り7名が社会体育で活動している。そのため学校行事の土日開催に影響していることを把握している。次年度の家庭訪問において、社会体育参加家庭に対して、学校行事を優先いただけるように理解を求める。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実効性のある運営協議会にするためにはどうしたらよいか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とともにある学校づくりをすすめる。「至誠」育成プロジェクトチームとして、各推進チームが企画・立案を試みる。</li> <li>・会議場所として、中学校の会議室や空き教室等を開放する。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養父市に但馬初の小中一貫校のモデルとして関宮学園が設立されたと思うが、メリットとデメリットを把握していることがあれば教えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員室を小・中学校教諭が共有していることで児童生徒の情報共有がしやすく、きめ細かな指導が行える。また、小・中学校教諭の取得免許保有により、校種を超えた授業や部活指導が行えるなどの利点がある。反面、6年生の最高学年としての活躍の場が奪われるといったデメリットもある。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、生野地区の生徒数が減少傾向の中で、統合の方向で考えるのではなく、小規模校（少人数）ならではの取り組みを期待する。（地域と共にある学校づくり・特色ある学校づくり）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の中には、児童生徒が安心安全な通学ができることを第1に考えている意見が多い。そのためにも自宅から近い学校の存続が望まれる。そこで、少人数ならではの特色ある学校づくりを意識した学校運営を展開しなければならない。この協議会とともに地域と共にある学校づくりを展開する。</li> </ul>

6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P T A主催による集団資源回収で、生徒のいない地区についても他地区と連携を図りながら回収はできないものか。地域の触れ合いも生徒にとって大切であると考え。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P T A常任委員会で検討する。生野地域全体を盛り上げていく観点からも前向きに検討していきたい。</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不登校の生徒が全国的に増加傾向にあると聞くが、本校ではどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在、様々な要因が考えられるが1名が在籍している。</li> <li>・ ふるさと教育を基盤に、体験活動を通して生徒一人一人の自尊感情を高める教育活動を展開していく。</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学力向上、部活動は学校の統廃合とは関係ないのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学力については、個人に応じた指導が言われており、むしろ小規模校の方がよいのではないかと。部活動についても、かつてのように勝つことを目標に掲げず、活動を通じた人間関係の構築や人格の形成を目標とするなら、競争原理は必要ないと考え。</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小規模校の活躍に期待</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生野中が、小規模校で「これだけのことができる」ということを見せれば、今後、小規模校になりうる地区に役立つと考える。</li> </ul>

## 5 閉 会